

ホームページ掲載内容

『人工肛門閉鎖における創部感染の頻度に関する研究』

2013年1月から2021年3月までに当院で大腸癌などの症例に対して、人工肛門閉鎖術を受けた患者さんについて、創部感染の頻度を検討することを目的に、臨床病理学的データ（患者背景、手術所見、病理所見、予後）を、カルテより情報を取り出し調査します。すでにある情報を集計する研究なので、この研究に参加することにより、新たに検査や治療が増える、費用が掛かるということはありません。データの集計にあたっては匿名化の後に行い、患者さんの個人情報を公開することはありません。また個人を特定できる情報を施設外に提供することはありません。研究対象とならないことを希望する際には当科に連絡すれば、情報の削除が可能です。研究のため自分のデータが使用されることを望まれない方は、下記責任者までお知らせ下さい。

本研究は京都医療センターの倫理審査委員会、並びに当院倫理委員会にて審査を受け、それぞれの病院長の許可を受けて行っています。研究計画書、及び研究の方法に関する資料を、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等で支障がない範囲内で閲覧することが可能です。問い合わせは当院外科までお願いします。

（研究担当：外科 後藤健太郎）

研究責任者：後藤健太郎

問い合わせおよび相談窓口：

京都医療センター 外科(075-641-9161)